

県大 jiman

2024 JULY

034

滋賀県立大学広報誌

特集1

近江楽座のススメ

特集2

県大 jiman ができるまで

特集3

環琵琶をのぞき見っ！

教員紹介

突撃!! jiman な先生

牧野 耕次 教授

After School Report —— かるたサークル

コラム —— RENTAL de ENJOY!!

県大 juman

第34号のテーマは「出会い」です。
皆さんの人生にはどのような素敵な出会いがありましたか？
県大に入学してから先生、友人、学問といった多くの出会いは今後の皆さんの人生にも大きな影響を与えるでしょう。
今回は、そんな県大生の様々な出会いをフィーチャーしました。
学問との出会い、地域活動での出会いは皆さんの学生生活ならではの出会いと言えるのではないのでしょうか。
そんな出会いをこの記事を通して改めて実感してみませんか。

編集後記 テーマ：私を変えた出会い



ラジオ

辛いときに不思議と元気ももらえる。
1日1番組は聞かないと生きていけない(かも)

地域文化学科 3年 小畑 結子



考古学

考古学を通して出会った人、知識。
たくさんの経験が生産を通して活かされると信じて
精一杯取り組んでいます。

地域文化学科 3年 堀 鞠音



カメラ

好きなもの・気になるものを持って
お気に入りとお出合える楽しみ。
小さな楽しみだけど、人生が楽しくなりました。

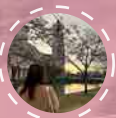
地域文化学科 2年 知念 武玖



バスケのコーチ

中学の頃からお世話になっているコーチです。
この人と出会わなければ今の自分はなかったといえるほど、
大きな存在です！

地域文化学科 3年 米山 さくら



友達

この大学に入ってたくさんの素敵な友達と出会えました。
友達と過ごす時間が私の大切な宝物です。

国際コミュニケーション学科 2年 後藤 玲奈



ライトノベル

友達との縁をくれて、面白くて、
暇を潰せて……もしや最強か？

材料化学科 1年 北野 凌



高校のクラスメイト

楽しいことや大変なことを一緒に乗り越えた
高校のクラスメイトは私の尊敬であり憧れです！

生活デザイン学科 1年 西村 紅葉

CONTENTS

- 03 近江楽座のススメ
- 05 県大 jiman ができるまで
- 07 環琵琶をのぞき見っ！
- 09 突撃!! jiman な先生 牧野 耕次 教授
- 11 After School Report かるたサークル
- 12 コラム RENTAL de ENJOY!!
- 13 事務局 歴史の一端に触れる一知の人ぞ知る
図書館コレクション資料一



大学
ここで一生ものの学びやご縁と出会えました。

OB 高杉 昭吾

事務局

加藤 一郎
細川 芽衣子

年2回発行

夏号 7月上旬
冬号 2月下旬



Mail:kendaijiman.tw@gmail.com

X (Twitter) :@kendaijiman

学生広報スタッフ大募集！

広報誌作成グループでは、県大 jiman の作成に参加してくれる学生を募集しています。
私たちと一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか。
デザインや編集の専門知識が無くても大丈夫です。
外部のデザイナーさんや編集者を招いて勉強会なども行う予定ですので、興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」第34号
発行 | 滋賀県立大学広報戦略委員会
編集 | 広報誌作成グループ
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500
TEL | 0749-28-8200 FAX | 0749-28-8470
E-mail | keiei_kikaku@office.usp.ac.jp
発行日 | 2024年7月
www.usp.ac.jp
紙面デザイン：学生スタッフ

近江楽座

おうみらくざ



座・沖島

多くの県大生が所属している近江楽座。その活動の実態とは…！
新1年生はもちろん、新しく何かを始めたいすべての県大生に向けて、
近江楽座との「**出会い**」をオススメします！

のススメ

OHMI
RAKUZA

近江楽座
のススメ

2004（平成16）年にスタートした近江楽座は、学部や学科・研究室などの垣根を越えて集まった多様な県大生が一体となり、地域貢献活動を行っています。審査を経て採択されたプロジェクトには経費が助成され、まちづくりや地域おこしなどで活躍しています。滋賀県内の様々な地域を活動フィールドとし、学生の学びと貢献活動がひとつになったプロジェクトです。



地域博物館プロジェクト



あかりんちゅ

活動団体
のススメ

近江楽座で活動する団体は、地域の人々と活動し地域活性化に貢献する団体はもちろん、ボランティア要素を含んだ活動をする団体・そして多様な学部が存在する県大らしく、学科で学んだ専門的な知識を役立てたり、反対に楽座で学んだことを学問に反映したりすることができる団体もあります。ぜひ自分にぴったりの活動を見つけてみて下さい。詳しくは近江楽座公式ホームページをチェック！



△ 近江楽座公式ホームページ

リアルな声を聞いてみよう！



県大生の声

students' voices

近江楽座における 「出会い」にはどのような ものがありましたか？

‘人’との出会い

- ・子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、イベントを通じて幅広く交流できる。(かみおかべ古民家活用計画／2年)
- ・障がい者について考える同年代の人に出会えた。学生なりに向き合おうとしている人たちと一緒に活動できる場は貴重です。(ボランティアサークル Harmony／3年)
- ・同じ学科の先輩から、授業やゼミの様子を聞くことができた。(あかりんちゅ／2年)
- ・島の方々はどの方も優しくあいさつをしてくださりとても温かかった。活動後にはお茶やお菓子なども用意してくださったのが嬉しかった。(座・沖島／1年)
- ・活動をしていく中で自分の興味関心について知り、今まで知らなかった自分との出会いもあったと感じています。(リソース／3年)
- ・ギャラリー喫茶おとくらを訪れる人たちとの出会い。60代で中山道を歩いて旅するパワフルな方もいて、自分ももっと頑張ろうという気持ちになります！(おとくらプロジェクト／3年)

・障がい者の社会的立ち位置の不安定さを当事者から聞くことができた。(ボランティアサークル Harmony／2年)

・県内各地で活動をしているため、広いコミュニティでの人との出会いがあります。(政所茶レン茶[®] ー／1年)

・活動を支えてくれる人たちと、おとくらの良いところやこれからどうしていくべきかなどを話し、様々な考え方を知ることができた。(おとくらプロジェクト／2年)

・販売イベント出店者のお孫さんと仲良くなり、イベントで会う度に話しかけてくれるようになった！(政所茶レン茶[®] ー／3年)

‘もの’との出会い

・調査で発見し整理した古文書や民具との出会いが活動を支えています。(地域博物館プロジェクト／3年)

こんな成長ポイントも！

- ・活動を計画する中で主体的に動けるようになった。
- ・地域の人との関わり方を知れた！
- ・団体を動かす上での情報発信力。
- ・人に誤解のないようわかりやすく伝える力。

県大 jiman が できるまで

2007年より年2回発行してきた滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」。様々な方々にご協力いただきながら、読んで楽しい・役に立つ紙面を目指してきました。制作の過程ではたくさんの方との出会いがあり、とても面白いです。今回はそんな学生スタッフの半年間に密着します！

ここから
スタート！

企画会議



テーマ、テーマカラー、特集の内容、ページの分担など、決めることは山盛り。過去の特集や他大学の広報誌も参考にしています。県大のジマンしたいところを、皆さんにお伝えできるよう頑張ります。

インタビュー



この取材の成果はp11へ→

先生方や課外活動団体にアポを取ってインタビューを行います。この取材を機に知る授業や団体もあって面白いです！録音機やメモ帳を活用して、より深い話を聞き出します。何回経験しても一番緊張する仕事ですが、先輩がいると心強いです。

いよいよ
大詰めへ…

配布

生協食堂の方にお渡ししたときに「新号を楽しみにしていたよ！」と言われて、達成感でいっぱいになりました。

毎号
8000部
印刷して
います



完成した最新号を、自分たちの手で食堂や自習室に設置しに行きます。在校生の自宅に届いたり、オープンキャンパスで高校生に配られたりします。京都駅にも置いてあるんですよ！

修正
・
入稿

写真撮影

表紙や紙面に使用する写真を撮りに行きます。カメラ片手に大学中を歩き回り、まだ見ぬ景色との出会いを探します。



大学近くの湖岸にも行きました。取材をきっかけに新しく知る場所もたくさんあります。

イラレ作業

Adobe illustrator（通称イラレ）というソフトを使用して紙面を作ります。図形の組み合わせだけで、自作キャラクターを作るスタッフもいます！初めは全員初心者。互いに使い方を教えあいながら、理想形に近づけるよう努力しています。



空きコマを活用して作業します

プロってやっぱりすごい！

実は、各ページの右下には担当スタッフの名前が書かれているんです。好きな記事があれば是非、最終ページにあるアンケートで教えてください。担当したスタッフの励みになります！

デザインチェック

OB でデザイナーの高杉さんにご指導いただき、より見やすい紙面にします。文字のバランスや適切な色の組み合わせなどを学びます。



様々な方からのアドバイスを受け調整を加えます。この段階で大きくデザインが変わることもしばしばあります。修正後は、印刷会社にデータを提出し見本を作ってもらい確認、を3回繰り返して完成へと繋がります。紙に印刷すると色が想像と違ったり、折り目と重なってしまったりするので大変です。

かんび 環琵琶を のぞき見っ！

人間文化学部には「環琵琶湖文化論実習」（通称：環琵琶）という、1年生担当の授業があります。環琵琶では、琵琶湖を中心とした多種多様な文化について、個人やグループでの調査とフィールドワークを通して各学科ごとに違った視点から学びます。そのため、学科によって行先や日程、内容などが大きく異なります。今回は、地域文化学科と生活栄養学科の環琵琶の様子を紹介します。

な文化について、個人やグループでの調査とフィールドワークを通して各学科ごとに違った視点から学びます。そのため、学科によって行先や日程、内容などが大きく異なります。今回は、地域文化学科と生活栄養学科の環琵琶の様子を紹介します。

2023年度のテーマ

学生の声

地域文化学科

- 1班：「世界農業遺産『琵琶湖システム』の歴史と現在」
- 2班：「滋賀の景観から読み解く地域文化」
- 3班：「地域資源としての文化遺産をいかに活用していくか」

実物を見ることで理解が深まり、新たな疑問も生まれました。

調べているうちに興味が湧いてきて、もっと知りたいと思うようになりました。

生活栄養学科

- 1班：「伊吹」
- 2班：「アクアポニックス¹⁾」
- 3班：「湖魚」
- 4班：「棚田」
- 5班：「お茶」

1) 魚の養殖と農作物の水耕栽培を同一システム内で行う循環型農法のこと。生産性の高さや環境負荷が少ない点などが注目されている。

今まで知らなかった滋賀の歴史や文化を学ぶことが出来ました。

生産者さんやガイドさんから、文献に書かれていないことを直接聞くことが出来ました。

学びの成果は...

地域文化学科・生活栄養学科・人間関係学科では、環琵琶で得た学びを報告書にまとめています。報告書は県大の図書館に配架されていますので、ぜひご覧ください。

地域文化学科

地域文化学科では 3 つの班に分かれて実習を行います。前期は個人で調査を行った後、テーマに沿った場所や施設を班ごとに実際に訪れて学びを深めます。後期で学びを報告書にまとめ、班内発表をします。班内発表優秀者による学科内プレゼン大会もあります。

2023 年度のフィールドワークは 2 泊 3 日の日程で行われ、野洲市にある魚のゆりかご水田や比叡山、竹生島などを巡りました。



▲プレゼン大会



▲竹生島の宝蔵寺
(長浜市)



▲志子淵神社
(高島市)



▲魚のゆりかご水田
(野洲市)

生活栄養学科

生活栄養学科では 5 班に分かれて、琵琶湖を中心とした滋賀県の食文化とそれに携わる人々について学びます。各班ごとにテーマが振り分けられ、その歴史や特徴、課題などを調査し、学びをまとめた報告書を作成します。

フィールドワークは 9 月に行われます。テーマに関連する施設を訪問して、滋賀県の食文化に携わる人々のやりがいや信念などについて学びます。



▲ふなずし



▲棚田
(高島市)

突撃!!

「involve」な先生

今回は「関わり」や「巻き込まれ」と訳される「**involvement (インボルブメント)**」について研究されている、人間看護学部人間看護学科教授の牧野耕次先生にお話をうかがいました。人間看護学部はタイ王国のナレースワン大学との交流があり、先生は昨年ナレースワン大学を訪問されました。先生の研究や研究の中での「**出会い**」やナレースワン大学での「**出会い**」についてお話しいただきました。

先生の研究について教えてください。

私は患者さんやそのご家族、看護師関係における「**インボルブメント**」について研究しています。看護師の方々は、日常的に患者さんやそのご家族と関わることを大切にしていますが、その関わり自体には理論がなくどうしても個人の裁量になってしまいがちです。患者さんやそのご家族との関わりで思うようにいかなかった場合、病院全体として行っているはずのことをひとりで抱え込んでしまい、結果的に看護師の方が自身を追い詰めてしまうことがあります。

この、理論がなく個人の裁量に任せる形になることの一の問題点は、教育の入る余地がないということです。患者さん一人ひとりによってケアの仕方は変えなければいけないのに、指標がないためどこをどう改善すればよいかの具体的な案が出ず、毎回一発勝負のような看護の関わりになってしまう傾向にあります。

上手くいけば素晴らしい看護で終わりですが、少しでも自身の関わり方に違和感を覚えてしまうと、その違和感に対応できないまま、小さい違和感が大きいものとなり看護そのものへの自信にも影響するようになります。

そのため、私は看護の関わりについての枠組みを作るために、主に看護師の方々にインタビューをする形で研究を進めています。

人間看護学部
人間看護学科

牧野
耕次
教授



看護師の方にインタビューをして印象に残ったことはありますか。

お話を聞いていて、改めて看護師の方々が本当にすごいなと感じました。私たちが気づかないようなところで、ほんの少し踏み込んだ関わりをしてくださっているということを知ることができました。

例を出すと、患者さんが自身で今後の治療方針を決定できない時、ご家族の方々が決定しなくてはならないことがあります。医師はあくまで現状と今後の対応についての提案をするのみで決定はご家族に委ねることになります。その時に、看護師の方々はよくご家族の方から「どうすればいいですか」と相談されるそうです。そこである一人の看護師さんのお話が大変印象的で、その看護師さんは「患者さんはどういう人だったのですか」と聞き返しているそうです。何気ない一言に聞こえますが、この一言によってご家族の方が自ずと患者さんについて思い返すきっかけとなり、どういう人だったかを話すことで、ご家族が患者さんの治療方針についても考えられるようになっていくそうです。ご家族の中での最良の選択ができるよう、関わる度合いを考えているというのは聞いていて感心しました。

先生の人生を変えた出会いはありましたか。

滋賀県立大学の名誉教授である甘佐京子先生との出会いがこの研究を進めるきっかけとなりました。私は一度会社員として就職していたのですが、精神疾患についてもっと深く知りたいと思い、色々つながりから甘佐先生と出会いました。そこから先生が働いておられた病院で看護師として働き、大学で先生の部下として働くようになり、関わりについての理論がないことによる難しさを痛感しました。理論がないからこそ自分で一から考えて患者さんに関わっていかなくてはならず、当時の私は看護学校に在学中でしたので戸惑いが大きかったです。先生も精神科における関わりの専門性について、看護師と看護助手で同じではあってはいけないと言及されました。そこで先生が提起された問題と、私の関心の方向に共通する部分があったことから私の生涯の研究テーマが決まりました。

ナレスワン大学の方々との出会いについて教えてください。

これは思いがけないところからの人とのつながりで交流するようになりました。私は看護英語実践という科目

の担当で、海外の研修先がなかなか決まらないことを、本学の全学共通推進機構に所属されていた、島田和久先生に相談したんです。その縁でタイの学生さんとの交流が始まっていきました。

ナレスワン大学ではとてもいい経験をさせてもらいました。病棟で看護師さんに帯同して実際のケアを見学させていただいたり、模擬的な状況の中でどう対処するか、実践力を養うシミュレーションを現地の学生さんと一緒にできたりしたのは本当にいい勉強になりました。

シミュレーションは日本の看護教育の中でも頻繁に行われています。タイでも同じ手法で看護の勉強をしている一方で、日本では20、30年前からあまり使用されなくなったナースキャップを今でも使用しているなど、様々な一面が見られて新鮮でした。

日本はシステムの中で様々なことを行う傾向にあり、少しかたい部分があります。そんな中でタイでの研修ではお国柄もありますが、寛容でやさしい部分が多くありとても貴重な交流体験ができました。



▲ナレスワン大学の学生さんとの交流

出会いや関わりについて学生へのお言葉をください。

人との関わりを本当に大切にしたいです。一期一会という言葉がありますが、看護師をしているとよく出会う言葉でもあります。実習の指導者さんや教員が好きな言葉として挙げることも多く、一回一回の関わりを大切にすることが有意義なインボルブメントに繋がるとおもいます。仏教でも縁、関係性によってものごとが成立するという考えがあり、関わるのが根本的に大切にされています。

私も関わりを大切にしていますし、学生の方にも大事にしてもらえるとうれしいです。

After School Report

かるたサークル



今号の After School Report では、かるたサークルさんを紹介します。かるたの魅力・かるたを通じた出会いなど、現部長の勝又琴音さんと前部長の鈴木彬生さんの2名にお話を伺いました。

活動内容を教えてください。

毎週火曜日の13時から20時まで、カルチャールーム1で競技かるた(※1)の練習をしています。別の場所を借りて練習することや、他の大学に行って練習試合をすることもあります。また、サークル内に外部のクラブチームの練習に参加している人が数名いるので、その繋がりを通して近隣市町のクラブチームに通っている小学生や中学生と一緒に練習する機会もあります。

かるたと出会ったきっかけを教えてください。

勝又さん：小学校の授業でかるたの存在を知りましたが、始めるまでは至りませんでした。中学生・高校生のときもかるたはしておらず、県大入学後かるたサークルがあることを知って本格的にかるたを始めました。ちなみに、私が小学生の頃に流行った漫画「ちはやふる」が入口となっかるたを始めた人はたくさんいます。

鈴木さん：実家ではちらし取り(※2)が正月の恒例行事で、姉2人にずっと勝てなくて悔しい思いをしていました。競技かるたは高校のかるた部に入ってから始めました。

かるたを通じた出会いについて教えてください。

やはり他大学の友達ができたことがすごく大きいです。対戦した後に仲良くなって、プライベートで遊びに行くようにもなりました。小中学生と一緒に練習すると元気をもらえますし、大人の方と練習したときには、か

るただけではなく仕事について教えてもらうこともあります。

かるたをやっている人は多くないので、試合や練習を通して繋がれることはすごく嬉しいです。

かるたの魅力を教えてください。

競技かるたは年齢や男女で分かれることなく、量と札さえあれば誰とでも一緒にできることが魅力だと思います。試合は速さ勝負なので、相手より速く札を取れたときは爽快感がありますし、自分の戦術が上手くハマったときの気持ちよさもあります。戦術や体の使い方を工夫することでそれぞれ強くなれて、自分の思いや考えをちゃんと表現できるのも一つの魅力です。

読者に一言お願いします。

競技かるたは「難しいもの」や「暗記が大変そう」というネガティブなイメージを持たれることが多いです。でも、実際やってみるとかるたならではの魅力があってすごく面白い競技です。100首ある和歌も語呂合わせを使うと楽に覚えることが出来ます。ぜひかるたに興味を持って、一度見学に来てくれると嬉しいです。

※1 100枚の中から50枚を選び、自陣と敵陣に25枚ずつ置く。読まれた上の句に対応する下の句を取っていき、先に自陣の札が無くなった人が勝ちとなる。

※2 下の句の札100枚を適当に散らして置き、読まれた上の句に対応する下の句を取る。1番多く札を取った人が勝ちとなる。

かるたサークル

代表：人間文化学部人間関係学科3年 勝又琴音さん

活動日：毎週火曜日

活動場所：A2棟1階 カルチャールーム1

人数：13人

連絡先：X(Twitter)→@usp_karuta

Instagram→@USP_KARUTA

▼X(Twitter)



▼Instagram



左：現部長の勝又琴音さん(3年生)
右：前部長の鈴木彬生さん(4年生)

～グッズを活用して充実した休み時間を～

RENTAL de ENJOY!!

滋賀県立大学後援会では、レジャーシートやスポーツ用具の貸出を行っています。県大生であれば誰でもA0棟2階の学生支援センターでレンタルできます。自然豊かなキャンパスの良さや友達の新たな一面に出会えること間違いなし！

Line up

レジャーシート・ソフトボール・グローブ・バット・
バドミントン・サッカーボール等（数に限りがあります）

How to use

～利用方法～



学生支援センターのカウンターでレジャー用品を借りたい旨を伝え、用紙に必要事項を記入します。代表者の学生証を預けると、レジャー用品の入ったロッカーの鍵がもらえます。ロッカーはA0棟2階入口付近にあります。事前の申し込みは必要ありません。

※中央芝生広場では使用できません。

※天候によっては使用できません。



Activity

湖風には負けません！



お楽しみタイムスタート！レジャーシートは大きめなので、4～5名は座れます。みんなでお昼ご飯を持ち寄ればピクニックだって出来ちゃいますよ。

Picnic

春は桜の下でお花見を。



運動不足解消に、眠気覚ましに、思いっきり体を動かしましょう。広いキャンパスならではの遊び方がたくさんありそうです。楽しい時間はあっという間。次の授業には遅れないように！



使い終わったら、借りる前の状態に戻してからロッカーに持っていきましょう。先ほどのカウンターで用紙に返却時間を記入し、学生証を受け取ります。

歴史の一端に触れる ―知る人ぞ知る図書館コレクション資料―

県大の図書館には、特色ある様々な資料が収蔵されています。貴重な歴史資料をより良い状態で後世に伝えていくために、みなさんが普段利用している通常の書架ではなく湿度管理された移動書庫や貴重資料室で管理をしています。図書館にこのような資料があることをご存じですか？

アジア関係コレクション

滋賀県関係コレクション

バクキョウシク 【朴慶植文庫】

在日歴史研究家の朴慶植氏が収集した在日朝鮮人・朝鮮史関係の資料。

朴文庫の資料群は膨大な量であり、整理を終えた資料から閲覧できます。一年を通して多くの研究者が資料を求めて来館されます。



カンゼンシク 【姜在彦文庫】

朝鮮近代史・思想史研究家の姜在彦氏が収集した朝鮮関係の資料。

姜在彦氏は朴慶植氏とならぶ先駆的な在日朝鮮人歴史家です。姜在彦文庫の資料は朴慶植文庫との重複が少なく、両文庫により朝鮮近現代史・日朝関係史を網羅することができます。

チントクショウ 【陳徳勝コレクション】

陳徳勝氏が収集した中国、アジア関係の資料。

資料の大部分は文化大革命当時の入手困難な時期の発行資料や、日中国交正常化以前の日本で発行されたものです。中国とアジアとの交流を主題とした資料が中心であることから、貴重な文庫となっています。

【ヒマール文庫】

鷲坂健一氏が収集したチベット、ネパール関係の資料。

少数民族の言語・文化等に関する資料で、大半が現地から収集されたものです。

キョウマツ 【精松源一文庫】

モンゴル語学者の精松源一氏が収集したモンゴルおよびモンゴル語関係の資料。

終戦前後、入手が難しかったモンゴル語・漢語・ロシア語等で書かれた稀少な資料も多数含まれています。



定期刊行物「丙寅」
現存する号がほぼない
貴重な資料の1つです

ほかにも、【朝日文庫】や【李廷燮文庫】など、アジア関係の歴史を研究する上で貴重とされる資料や、【社会運動関係資料】など、知識を深めることができる資料が数多く収蔵されています。

【西川家文書】

近江八幡市の西川昌子氏より本学に寄贈された古文書。寛永年間より大正初期にいたる約300年間、総数およそ4,000点におよぶ膨大な史料です。

史料のうち、西川家全体に関係のある営業・回船・蝦夷・領主関係・政治・講社等・土地・信用証文類の約200点は、幕末・明治初期の日本経済や社会史、特に江州商人の北海道交易を知る貴重な史料です。

さらに個人関係の葬儀・婚礼・出産・慶事等に関する約1,200点からは、当時の商家の生活や、湖東地方の習慣をうかがい知ることができます。

【近江国野洲郡野洲村野口家文書】

【近江国志賀郡本堅田村辻家文書】

【彦根藩家老木俣家文書】

【近江国犬上郡多賀村小菅家文書】

【近江国浅井郡落合村落合家文書】 など

これらの文書は、図書館で借りられる『滋賀県立大学学芸員課程報告書』にて調査成果が報告されています。

滋賀県内の歴史をひも解くことができる文書はほかにもあるのですが…このような資料も収蔵しています。



【豊臣秀吉朱印状】



これは一般に領知宛行状と称されるもので、領主(秀吉)から家臣へ領地を与えた証として発給されたものです。豊臣期の近江国の支配の様相が明らかになる可能性をもった資料の一つかもしれません。

これらのコレクション資料は、研究のために閲覧利用することができます。ぜひ活用してください。

図書館では、現在も順次、資料の整理をすすめています。各文庫等の詳しい情報は図書館HPでご確認ください。

受賞・表彰 (学年は受賞時点)

学 生

第35回高分子加工技術研究会(日本レオロジー学会)
 学生優秀発表賞
 工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年 太田鈴菜

プラスチック成形加工学会第31回秋季大会
 「成形加工シンポジア'23」 優秀ポスター賞
 工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年 太田鈴菜
 2年 西山亜希

お弁当コンテスト2023年
 ～米と野菜たっぷり！ 滋賀PR弁当～ 優秀賞
 人間文化学部生活文化化学専攻博士前期課程 1年 村端穂香

日本生態学会近畿地区会例会 奨励賞
 環境科学研究科環境動態学専攻 2年 西野大輝

2023年度グッドデザイン・ニューホープ賞
 Honorable Mention
 人間文化学部生活デザイン学科 4年 宇佐美董
 4年 藤崎由渚
 卒業生 戸田理菜
 卒業生 山本友香

東海プロダクトデザインアワード2022 最優秀賞
 人間文化学部生活デザイン学科 4年 宇佐美董

一般社団法人照明学会関西支部 2023年
 学生照明デザイン競技 入選
 人間文化学部生活デザイン学科 3年 稲垣里菜
 3年 高木 遥

第9回材料WEEK材料シンポジウム
 若手学生研究発表会 優秀発表賞
 工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年 田中 萌

The 13th TSME International Conference on
 Mechanical Engineering (TSME-ICoME 2023)
 Best Paper Runner-up Award (DRC)
 工学研究科機械システム工学専攻博士前期課程 2年 中尾紘貴

プラスチック成形加工学会関西支部
 2023年度若手セミナー 優秀発表賞
 工学部材料化学科 4年 世古口太貴

日本材料学会第21回破壊力学シンポジウム
 ベストプレゼンテーション賞
 工学研究科機械システム工学専攻博士前期課程 1年 堀川俊典

自動車用内燃機関技術研究組合(AICE)
 AICE年次大会 2023年度AICE Award成果表彰
 工学研究科機械システム工学専攻博士前期課程 2年 脇坂頼明

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ(第79回国民スポーツ大会・第24回全国
 障害者スポーツ大会)公式ポスターデザイン公募 最優秀賞
 人間文化学部生活デザイン学科 4年 武立あかり

一般社団法人学生サポートセンター
 学生ビジネスプランコンテスト 努力賞
 環境科学研究科環境動態学専攻博士後期課程 1年 橋 啓輔
 工学研究科電子システム工学専攻博士前期課程 2年 阿南椋久

教 員

The 13th TSME International Conference on Mechanical Engineering
 (TSME-ICoME 2023) Best Paper Runner-up Award (DRC)
 先端工学研究院 講師 田中 昂
 准教授 大浦靖典

(一社)繊維学会関西支部 令和5年度関西繊維科学賞
 先端工学研究院 准教授 竹下宏樹

公益財団法人江野科学振興財団
 「第35回(2023年度)研究助成」 江野科学振興財団賞
 先端工学研究院 講師 伊田翔平

団 体

第52回滋賀県アンサンブルコンテスト 大学の部 金賞
 吹奏楽部 クラリネット 4重奏
 1年 浅海寿々花 2年 食野孝太郎
 3年 山田武尊 3年 林 凜

第52回滋賀県アンサンブルコンテスト 職場・一般の部 銀賞
 吹奏楽部 サクソフォン 4重奏
 2年 井上琴葉 2年 青木一晃
 4年 江南聖也 4年 清水智輝

第13回毎日地球未来賞 奨励賞
 近江楽座 あかりんちゅ

一般社団法人学生サポートセンター
 学生ボランティア団体活動助成活動レポート 優秀レポート
 近江楽座 BAMBOO HOUSE PROJECT

人 事

着任 2024年2月1日付

阿部 聡子
 先端工学研究院 講師



2024年4月1日付

高橋 啓子 理事(非常勤)

玉田 浩之
 環境科学研究院 准教授



大方 正倫
 環境科学研究院 講師

嵯峨 拓真
 先端工学研究院 講師



塚本カナエ
 人間文化学研究院 教授

瀬戸 貴裕 人間文化学研究院 講師
 久保 美紀 人間看護学研究院 教授

退職

2024年2月26日付

大羽 詩織 人間看護学研究院 講師

2024年3月31日付

上原 恵美 理事 (非常勤)
 金子 尚志 環境科学研究院 教授
 乾 義尚 先端工学研究院 教授
 印南比呂志 人間文化学研究院 教授
 木村可奈子 人間文化学研究院 講師
 横井 和美 人間看護学研究院 教授
 子安 恵子 人間看護学研究院 講師
 近藤 佑樹 人間文化学研究院 講師

滋賀県立大学 公式 Instagram ページ

[アカウント] @univ_shigapref

[URL] https://www.instagram.com/univ_shigapref/



学生 Instagram スタッフ活躍中!
 ぜひ、フォローしてください!

滋賀県大イベントカレンダー

7月

20日(土)、21日(日) オープンキャンパス
30日(火)～8月5日(月) 前期定期試験

8月

6日(火) 夏季休業開始

9月

9日(月)、10日(火)、17日(火) 地域活動実践ターム
27日(金) 後期授業開始

11月

3日(日祝)、4日(月振休) 大学祭「湖風祭」
23日(土祝)、24日(日) 特別選抜試験(未定)

12月

7日(土) TOEICテスト
30日(月) 冬季休業開始

1月

3日(金) 冬季休業終了
18日(土)、19日(日) 大学入学共通テスト
29日(水)～2月4日(火) 後期定期試験

2月

7日(金)～9日(日) 地域活動実践ターム
(未定)

▽県大jiman34号についてご意見をお寄せください。
(下記QRコードを読み取ると、Webからアンケートの回答ができます)

